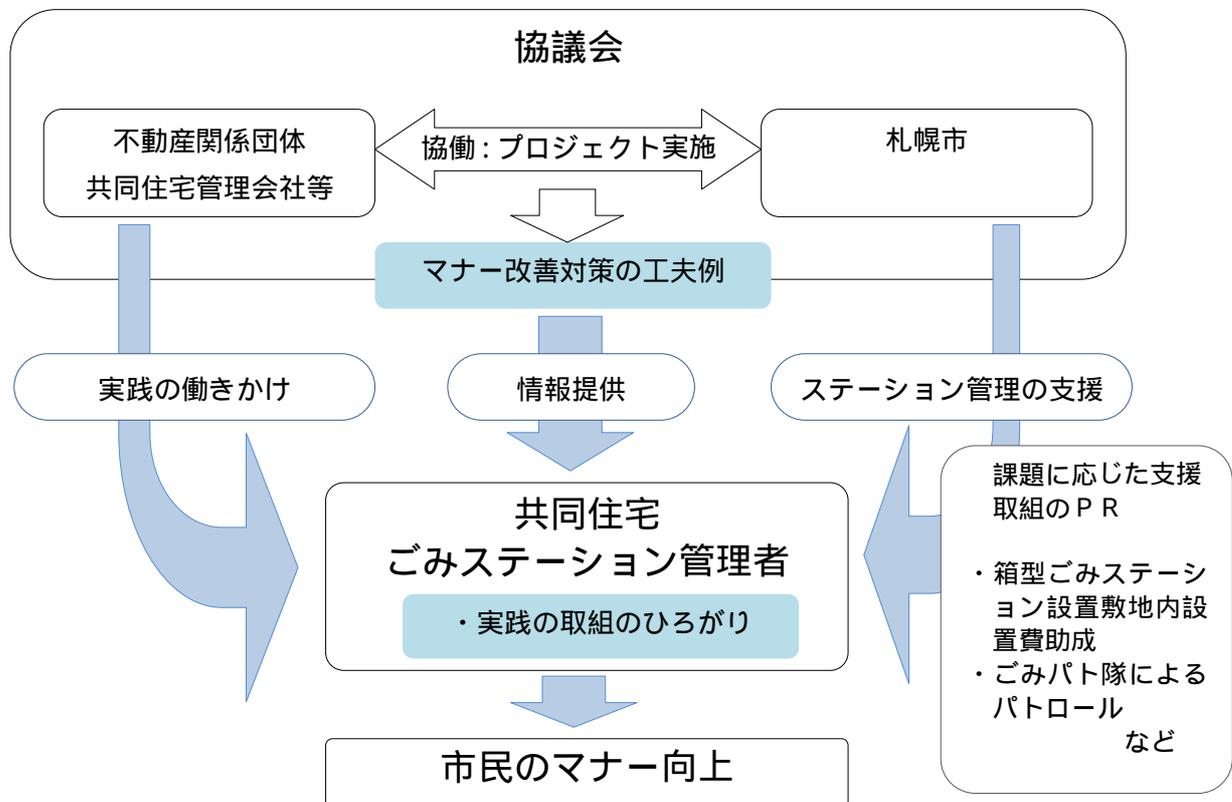


脱・ごみ箱化プロジェクトの取組結果の活用

プロジェクト結果の活用（イメージ）



「(仮称) クリーンごみステーション」キャンペーン(案)

概要

マナー改善対策の実践を広げる契機とするために、共同住宅のごみステーション管理者（協議会会員・賛助会員）を対象として、脱・ごみ箱化プロジェクトの結果等に基づくマナー改善対策を実践するキャンペーン。

居住者と一体となった実践とすることを旨とし、居住者に対してキャンペーンの趣旨等について事前に周知を図るとともに、実践の結果を資料にまとめてPRする。

キャンペーンに参加する管理者の目標

「ごみステーションを一定期間きれいな状態に保つ」

実践する対策例・ごみステーションの使用法の工夫（ごみ種で排出スペースを区別等）
・ごみ種別の収集日をわかりやすく掲示

札幌市（清掃事務所）がキャンペーン対象ステーションを支援
・パトロールの重点実施
・キャンペーン実施期間中の残置ごみ袋の早期回収 など

スケジュール

- 8月～9月頃 勉強会の開催（兼第5回協議会）
【目的】ごみ排出マナー向上の取組を実践するための情報提供及び
キャンペーンへの参加の呼びかけの機会とする。
【対象】協議会会員、賛助会員
【内容】「公共マナー」等をテーマとする専門家の講演など
- 9月～10月頃 キャンペーン参加者の募集
・募集チラシの配布など
募集人数など募集要領は別途定める
- 10月～11月頃 キャンペーンの実施
【居住者への周知の内容等】
・キャンペーンの趣旨
・各ステーションが実践する改善対策の説明
・参考資料として指定袋を配布
管理者がチラシ配布等により周知
（必要に応じて清掃職員と共同で戸別訪問を実施）
- 12月～1月頃 キャンペーン結果のとりまとめ
・参加者は報告書を作成して提出
- 2月～3月頃 キャンペーン結果資料の公表（第6回協議会）
【結果資料の配布先】
・キャンペーン参加者が管理する共同住宅の居住者
・協議会会員傘下の団体
・賛助会員
・区役所 など